

沿革

静岡第三同志会は、「緑陰禪の集い」等で活動していた青年宗侶が中心となり、昭和45年6月13日に発起人石雲院 植村正道師、会長を観音寺 深川成典師とし発足しました。また、今年創立40周年を迎える事ができました。

「世に不必要なもの、必要を説きえないものは存続することが出来ない。」という趣旨のもとに、より



静岡第三同志会

現在の活動

静岡第三同志会の主な活動として昨年度は、▽7月 サマースクールを開催し、子供たちと夏に出来る事を通じて交流を行う。

▽8月 徒弟研修会を2泊3日の日程で高尾山石雲院で三時諷経、坐禅、略飯台などで子供と一緒に修行する。

▽12月 チャリティーバザーを行うい、歳末助け合いなどの募金活動

よい教化活動の道を模索求得しようとし始めました。当初の、同志相寄り、親睦に研修に、切磋琢磨の精進努力・和合の力を発揮し、生き生きとした布教活動を展開しているというのではないかとの決意を引き継ぎ、現在活動しています。

当初から月例研修会(眼蔵会・法式研修)や、SVAを通じての東南アジアの国に段ボール200箱以上の衣類等の寄付を行うなど盛んに活動し、サマースクールは今でも続いている行事のひとつで

やチャリティーの売り上げなどを様々な団体に寄付。

▽3月 スキースクールを行い、春休みに子供たちと普段できないスキーやスノーボードなどのウィンタースポーツで交流を行う。

などを主な活動として行いました。一昨年より徒弟研修会の子供たちと一緒にうどんを作り、『食育』を通じて三心を学びます。

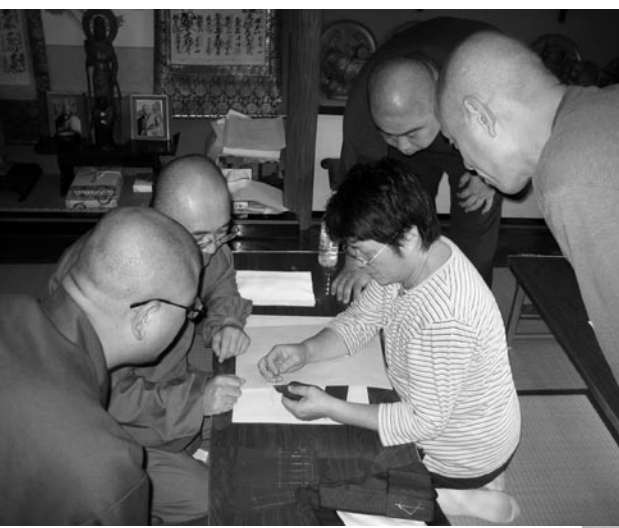
『喜心』：自分の作ったご飯を食べる喜びや物の命をいただく感謝を学ぶ。

また、全曹青との関係も深く、第5期には榮林寺 櫻井孝順師が会長に就任しています。その他にも、執行部、各委員会にと多くの会員を出向させていただきました。出向した会員は貴重な経験をし、パイプ役となることで他の会員は全曹青をより身近に感じる事ができました。これからも全曹青との関係を密にして、お互い協力し合える関係を大切にしていきたいと考えています。

設立 | 昭和45年6月13日

執行部
 会長 | 高橋浩道
 副会長 | 榎本隆宣 太田元三
 鈴木亮秀 川口素見
 中村真典
 第三曹青会会長 | 尾崎寿光
 第三曹青会副会長 | 福島英明 杉江知恭
 全曹青評議員 | 尾崎寿光
 事務局長 | 藍谷博文
 事務局 | 正木勝良 西村元隆
 松本尚仁
 会計 | 土屋賢道 植村公彦

会員数 | 166名(平成22年4月1日)



絳子の縫製を学ぶ



スキースクールの一コマ

『老心』：仲間と協力して汗を流してうどんを踏み、捏ね、切り、食べる人のことを思つて食事を作る大変さを体験し、日々の食事の有り難さを感じる心を学ぶ。

『大心』：太いうどんや細いうどん、いろいろなうどんが出来上がるが自分で作るとおいしい！と感じて好き嫌いや偏食をなくす。

といった事が体験を通じて会得出来たらと考えています。